

長野県成年男子 国体選手選考基準

令和4年4月1日現在

長野県ソフトボール協会成年男子の国民体育大会における選手の選考基準を以下のとおり定める。

【基本原則】

北信越国体において活躍し、本国体出場に貢献することができる選手を選考する。

【選考の基準と方法】

1. 国民体育大会出場資格を有している選手を選考対象とする。
2. 協会は、国民体育大会成年男子選抜チームを構成するため強化スタッフを構成する。強化スタッフは、成年男子種別に関わるチームの監督と協会国体対策プロジェクト委員で構成する。
3. 協会は、国民体育大会選手選考会の他、選手の能力を見極めるため、年間通して強化練習会（以下選考会等とする）を開催する。強化練習会は、概ね春・夏・秋に各1回として、一般的な練習の他、県外チームを招聘した強化試合を含む。

選考会は、トーナメント方式又はリーグ戦方式による試合の他、状況に応じて一般的な練習による方式をとる。

4. 選考大会等における選手の評価、選考の観点は次のとおりとする。

長野県代表選手としての試合態度、ファイティングスピリッツを持ち、選考会等に参加し、以下の観点において優れていること。

〔投手〕 球速・球威、球種の豊富さ、変化球のキレ、コントロール

〔捕手〕 盗塁阻止を想定した送球（捕ってからの速さ、肩の強さと正

確性)

[野手] 守備力 (あらゆる打球への反応・判断・入り方、肩の強さと正確性)

[攻撃力] 基本的な打撃力、状況に応じた攻撃姿勢と技術、走力 (スピード・判断力)

5. 強化スタッフは、選手選考会等の結果に基づき当該年度の国体候補選手を 20 名程度リストアップし、強化スケジュールについて協議し決定する。
6. 選抜チームの監督は強化スタッフにおいて、指導者資格、チームマネジメントの実績、候補選手の陣容等を総合的に協議・決定し、協会において任命する。
7. ふるさと制度活用による選手については、該当選手に対して事前に国民体育大会選手選考会の通知をする。所属チームの大会やリーグ戦等で参加できない場合を除き可能な限り国民体育大会選手選考会に出場するものとするが、参加できない場合は、強化練習会に参加する。
8. 選手の選考はこの他に、直近 2 年間の北信越国体、全日本クラブ選手権、全日本総合選手権の県予選及び各北信越予選、選考会等での成績を、ふるさと制度活用選手については、所属チームでの成績も資料とし、選抜チームの戦略及び戦術によるチーム構成等総合的に判断する。なお、国民体育大会参加資格の特例措置の該当トップアスリートが出場可能な場合は、選考会等欠場であっても協会の決定をもって優先的に北信越国体及び本国体の県代表選手とすることがある。
9. 選任された監督は強化スタッフとの協議の下、エントリー締め切り前の適切な時期に、国体候補選手 20 名の中から、最終選考者 12 名と補助選手 3 名から 8 名の範囲で決める。
10. 選抜チームの監督は、選考の結果を選手の所属チームの監督を通して

選手に通知し、(内定者・決定者のみ)協会は、選任した監督及び選考した選手に長野県(監督・選手)指定書を交付し、協会のホームページ及び広報誌(ソフトボール長野)を通して公開する。

11. 協会は、選考の基準と方法について変更が生じた場合は、協会のホームページ及び広報誌(ソフトボール長野)に公開すると共に登録チームに通知する。

【確認事項・その他】

選任された監督及び選考された選手には、当該年度を通して長野県代表であることを自覚した行動を求め、選考以後の国体強化練習、強化試合、レベルアップのための研修会や講習会に参加する。これに参加しない選手は内定(決定)を変更する場合もある。